

広嶋輝治 の 邪馬台国吉備・狗奴国大和説

自己紹介

邪馬台国吉備説 4 部作 (2002 年「邪馬台国岡山吉備説から見る古代日本の成立」、2009 年「邪馬台国吉備説 神話篇」
「広島輝治の邪馬台国吉備・狗奴国大和説」、小説「箸墓物語」)

1. 古代史の 3 つの柱 文献学 考古学 神話・神社史学 + 地域伝承

2. どうして邪馬台国吉備・狗奴国大和説が思い浮かんだのか

3. 吉備オリジナルの製品と伝承

- (1) 分銅形土製品 : 弥生中期後葉～後期前葉
- (2) 特殊壺・器台と弧帯文 : 弥生後期後半～終末期・古墳時代早期
- (3) 吉備津彦兄弟による吉備征服と温羅(うら)の抵抗 鬼伝説地

4. 神々を祀る古社の分布と結論

結論1. スサノオ神話の根源は出雲ではなく吉備

結論2. 吉備邪馬台国神話と大和建国神話が 300 年～320 頃に融合し、接着剤として出雲の国譲りが創作された。

5. 弥生時代前期～古墳時代前期までの俯瞰

- (1) 弥生時代前期 呉と越の滅亡とボートピープルの渡来
- (2) 中期前葉 前漢の武帝による朝鮮半島植民地化 北部九州の発展 倭族の東上(ムスビの神々)
- (3) 中期後葉 北部九州が倭国の中心地 吉備・讃岐勢力の勃興 日向のイワレビコの大和入り
- (4) 後期 吉備邪馬台国が倭国(西日本)の盟主 出雲王国の日本海制覇 阿波王国の勃興
- (5) 終末期 倭国大乱 ヒミコとトヨ 大和狗奴(葛)国の勃興(東海 3 国→淡路島・阿波→近畿→吉備)
- (6) 古墳前期 崇神天皇の東西日本の統一 吉備・讃岐・阿波・出雲・伊予の住民が東国の開拓民に

6. 吉備邪馬台国と大和狗奴(葛)国

7. 伊勢神宮と日本神話の原形の成立(垂仁天皇時代 320～330 年頃)

1. 古代史の3つの柱 文献学 考古学 神話・神社史学 + 地元の伝承

三者三様の誤り

文献学

考古学

神話・神社史学

欠史八代説

欠史八代説に沿った邪馬台国・纏向首都説

大和の天つ神 対 出雲の国つ神



より高く、より広い視点 (新人文主義学)

文献学

考古学

神話・神社史学

地域伝承

を同じ器の中で総合すると

邪馬台国は吉備、大和は狗奴(葛)国

大和は266年以降に吉備を破った後、
290年代に東西日本の統一を達成

日本神話は吉備邪馬台国神話と大和建国神話
が合体し、出雲の国譲りが接着剤

3. 吉備オリジナルの製品と伝承

- (1) **分銅形土製品** : 弥生中期後葉～後期前葉
- (2) **特殊壺・器台と弧帯文** : 弥生後期後半～終末期・古墳時代早期
- (3) **吉備津彦兄弟**による吉備征服と**温羅**(うら)の抵抗 (欠史八代説では架空の人物となる)

(分銅形土製品) 古代吉備を語る2 から転載

(1)分銅形土製品

九州の奴国から大和まで
スサノオ神話の神々の分布と共通性
第1次高地性集落の分布と共通する



(2)特殊器台 「吉備の弥生大首長墓」P. 73から転載

- 第1期 立坂型 吉備と出雲
- 第2期 向木見型 吉備
- 第3期 宮山型 大和主体

吉備では1か所のみ

宮山型は大和でいつ発生したか？

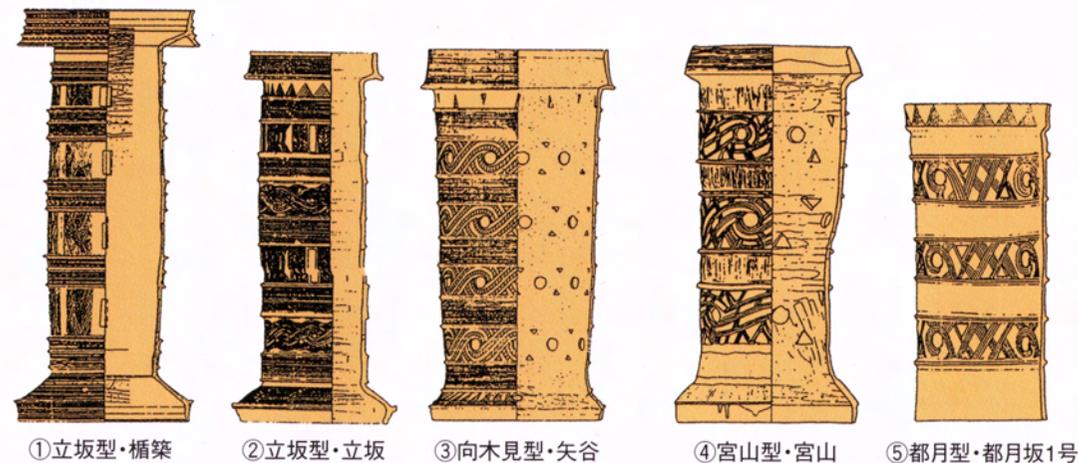
特殊器台の三段階

(3)温羅・鬼伝説の分布

- 備中 鬼城山、鬼嶽温泉
- 備後 神市、鬼が城山
- 讃岐 鬼ヶ島(女木島)
- 伯耆 鬼住山(溝口)
- 安芸 鬼ヶ城山(2か所)

大和・尾張系の神社

本宮高倉山(高倉神社)、尾針神社



(分銅形土製品、特殊器台・壺、鬼伝説、オオモノヌシの分布)

分銅形土製品 (前100~150年頃)

邪馬台国吉備説のカギ(大和説、九州説は無視)

北部九州の奴国から大和の唐古・鍵遺跡まで

北部九州:宗像三女神

伊予:オオヤマツミ

吉備・出雲:スサノオーオオナムチ(オオモノヌシ、
オオクニヌシ、ヤチホコ等)

讃岐・阿波:アメノフトダマ(忌部) 出土は少ない

近畿地方:スサノオの子神オオトシと孫神

分銅形土製品、第1次高地性集落、スサノオ系神々の3点の分布が共通する

= 吉備を中心とした共通文化圏が存在したことを示す。

奴国は弥生中期末から衰退。

特殊器台 (200年代。年代基準は不明の状態)

吉備・出雲 立坂型・向木見型

大和 宮山型

温羅・鬼伝説(温羅の弟は王丹おに)

吉備国の周辺部に分布

オオモノヌシの根源地は2か所 何故か?

大和 三輪山・大神(おおみわ)神社

讃岐 金刀比羅宮(発祥は塩飽諸島)



4. 神々を祀る古社の分布と結論

結論1. **スサノオ神話の根源**は出雲ではなく**吉備**

結論2. **吉備邪馬台国神話**と**大和建国神話**が300年~320頃に融合し、接着剤として**出雲の国譲り**が創作された。

(留意点)

天の岩戸 中臣アメノコヤネと忌部の神々が祭祀(五伴緒)

吉備 那岐山 蒜山高天原伝説 富がつく地名が多い
血洗いの滝、宗形神社、周匝、周佐、柵原鉦山跡
石上布都御魂神社と磐座、上山宮と八神

讃岐・阿波 忌部系神社(大麻神社、大麻彦神社)

田村神社(ヤマトトビモモノヒメ、大和系の将軍)

宗像三女神 筑紫、安芸、伊予、吉備、伯耆(米子)

伊勢 サルタヒコ(椿大神社)

尾張 アメノホアカリ(真清田神社。根源地は大和の**御所市**)

東国になぜ中国・四国地方の神さまが？

安房 アメノフトダマ(安房神社) 市原市の神門五号墳

下総 フツヌシ(香取**神宮**)

常陸 タケミカヅチ(鹿島**神宮**)

上野 フツダマ(貫前神社)

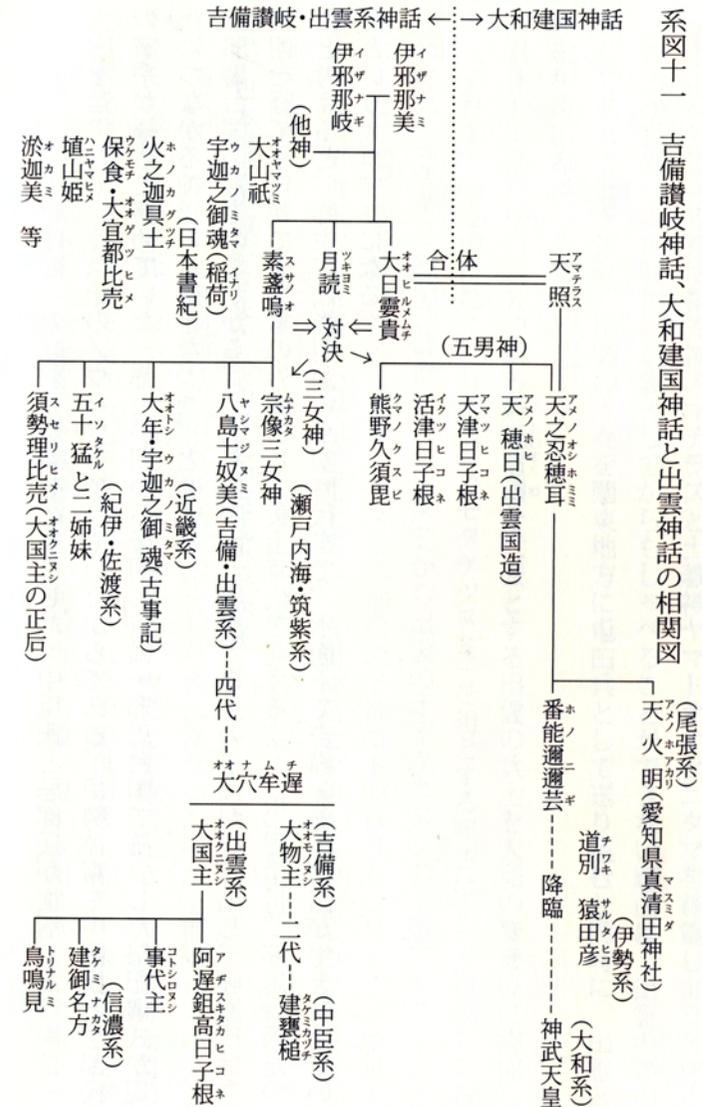
下野 トヨキイリヒコ(宇都宮二荒山神社)

陸奥 アジスキタカヒコネ(都々古別神社)

武蔵 スサノオ(氷川神社)

伊豆 オオヤマツミ(三嶋大社)

(日本神話の神々の構成図)



5. 弥生時代前期～古墳時代前期までの俯瞰

- (1) 弥生時代前期 **呉と越の滅亡**とボートピープルの渡来
- (2) 中期前葉 **前漢の武帝**による朝鮮半島植民地化 **北部九州**の発展 倭族の東上(ムスビの神々)

(中国沿岸、朝鮮半島と日本列島)

縄文文化

沖縄から樺太南部まで

弥生文化

水田耕作が可能な地域

(九州南部と東北地方北部は不適地)

弥生前期 前473～前180年頃

呉の滅亡 前473年

越の滅亡 前334年

イザナギ・イザナミ神話と越系神話
の類似性 銅鐸文化の発生
伊弉諾神宮、多賀大社、那岐山
イザナミ:花の窟と二つの比婆山

弥生中期前葉 前180～前100年頃

秦の始皇帝と徐福伝説 前211年

衛氏朝鮮の建国 前195年 南部に辰国の母体

前漢の武帝による朝鮮半島植民地化

前109年 玄菟・楽浪・真番・臨屯の四郡



5. 弥生時代前期～古墳時代前期までの俯瞰

(3) 中期後葉 前100～75年頃

北部九州が倭国の中心地

倭族の工人・ムスビ神の東下

出雲 カミムスビ

瀬戸内海 中臣コトムスビーアメノコヤネ

忌部タカムスビーアメノフトダマ

水銀朱と中央構造線

吉備・讃岐勢力の勃興

分銅形土製品と第1次高地性集落

日向のイワレビコの大和入り(南葛城に葛国建国)

吉備勢力の西出雲征服

ヤツカミズオズミノとカミムスビの世界にスサノオが加わる。四隅突出墳丘墓の発生は備後の三次盆地。荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡

(4) 弥生後期 75～190年頃

吉備邪馬台国が倭国(西日本)の盟主

奴国の衰退

出雲王国の日本海制覇—越後まで(四隅突出型)

西谷墳丘墓二号・三号

阿波王国の勃興—黒潮ルート

萩原墳丘墓一号・二号

邪馬台国の治世7～80年後に 倭国大乱

倭国の盟主の後継者戦争



(5) 弥生終末期 190頃～266年

ヒミコとトヨ 吉備邪馬台国は徐々に衰退

大和狗奴(葛)国の勃興

(東海3国→淡路島・阿波→近畿→吉備)

阿波の工人が大和に徴発される。(3世紀前半)

大和の吉備征服

トヨは讃岐に逃亡した後、大和入り(トビモモノヒメ)

吉備の工人が大和に徴発される。(3世紀後半)

(6) 古墳前期

崇神天皇の四道将軍と東西日本の統一

倭国の盟主の象徴: 弧帯文とオオモノヌシ

吉備のオオモノヌシは瀬戸内海の神さま

大和のオオモノヌシは大和による支配の神さま

箸墓 特殊器台・宮山型

吉備・讃岐・阿波・出雲・伊予の住民が

開拓民として東国に送られる。

東国になぜ中国・四国地方の神さまが？

安房	アメノフトダマ(安房神社)	阿波系	市原市の神門五号墳
下総	フツヌシ(香取神宮)	中臣系	
常陸	タケミカヅチ(鹿島神宮)	中臣系	
上野	フツダマ(貫前神社)	中臣系	
下野	トヨキイリヒコ(宇都宮二荒山神社)	崇神天皇皇子	
陸奥	アジスキタカヒコネ(都々古別神社)	出雲系	
武蔵	スサノオ(氷川神社)	出雲系	
伊豆	オオヤマツミ(三嶋大社)	伊予系	
信州	タケミナカタ(諏訪大社)	出雲系	



6. 吉備邪馬台国と大和狗奴(葛)国

(1) 吉備邪馬台国

弥生前期末

津山盆地に**イザナギ・イザナミ**神話が入る。
富族の誕生(古事記 **タケミカヅチ、フツヌシ**)

弥生中期後半

吉備の勃興(中臣族**アメノコヤネ**)
吉井川流域 津山 周佐 周匝 石上 下市
高天原・ヤマタノオロチ神話(吉井川・旭川流域。中臣族と忌部族)

弥生後期(100年代)

吉備邪馬台国の膨張と倭国(西日本)の盟主
吉備邪馬台国の初代は**帥升**の可能性(107年)
頂点は**楯築王**の時代(男王の時代が70~80年継続)

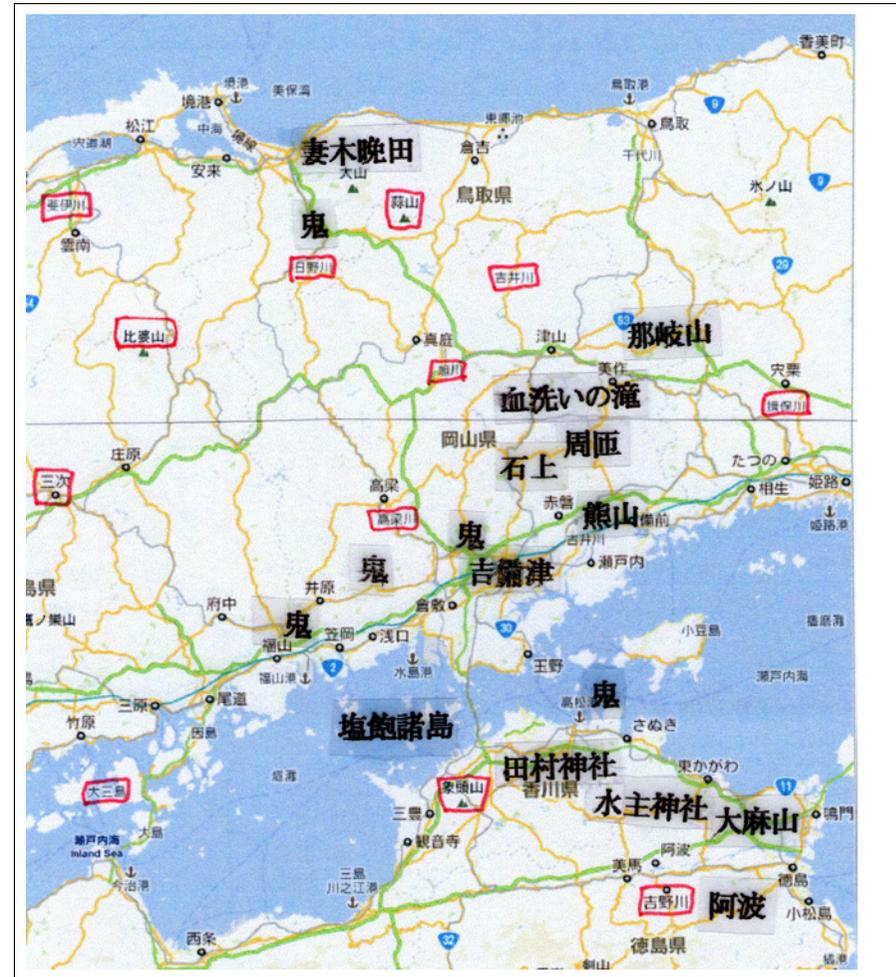
弥生終末期

楯築王の死後、倭国大乱(出雲—吉備—阿波)
ヒミコと**トヨ**(2世紀末~266年頃)トヨは讃岐に逃亡後、大和入り
敗北と抵抗(266年~270年代) 温羅と鬼伝説

古墳前期

吉備津彦兄弟の子孫
上の道(備前) 下市
下の道(備中) 吉備津・足守

最盛時の吉備邪馬台国の領域



吉備邪馬台国の中心部

楯築墳丘墓(2世紀末) 立坂型

鯉喰神社弥生墳丘墓(248年頃) 向木見型

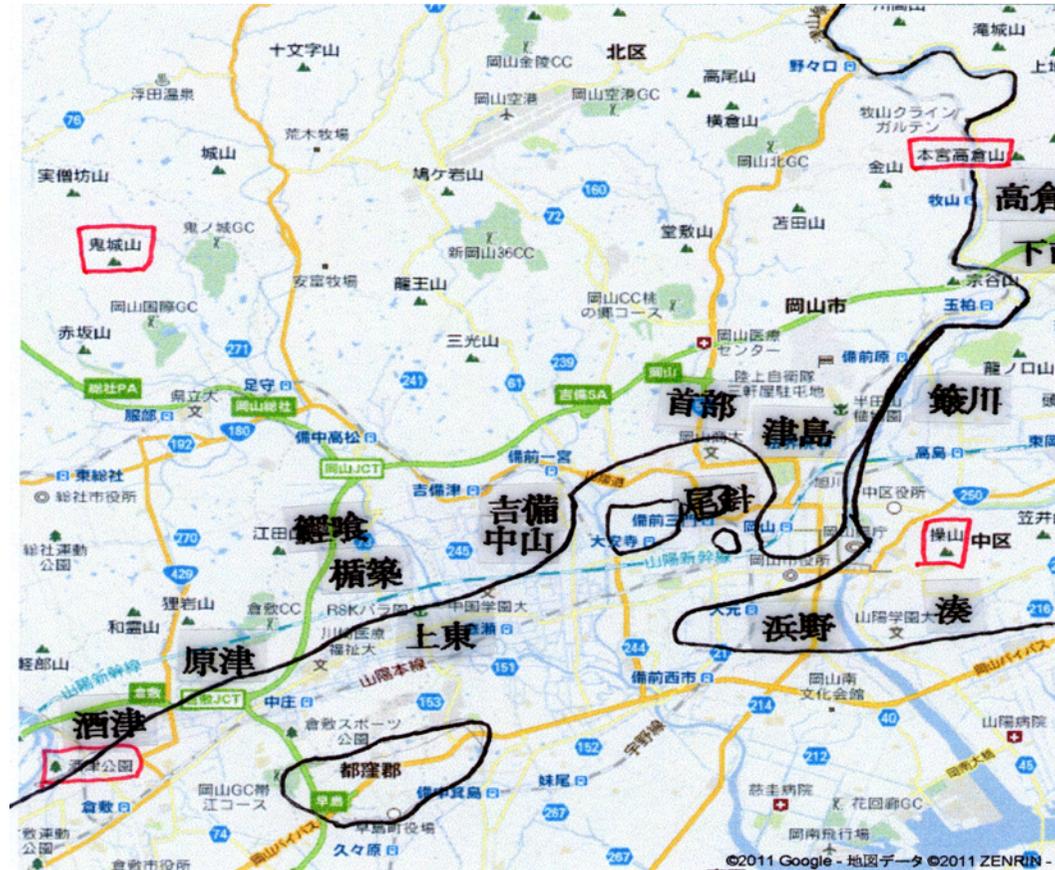
王宮はどこに

封泥はどこに

国際港 酒津 原津 上東

帯方郡の影響 高塚遺跡の貨泉、民間道教文化

尾張氏の痕跡 高倉神社 尾針神社
首部(こうべ)



(2) 大和狗奴国

最初の首都は御所市周辺(欠史八代説では抹殺)
第十代崇神天皇の王宮は金屋
第十一代垂仁天皇と第十二代景行天皇の首都は纏向

大和狗奴国

弥生中期末

神武天皇の葛国建国(1世紀末) 王宮は**橿原宮**
吉備邪馬台国と宗像族の要請で、水銀朱交易路の確保
登美国と吉備の**富族**との関連性(天羽羽矢とかちゆき)

弥生後期

第二代 **綏靖天皇** 王宮は御所市**高丘宮**
第三代 **安寧天皇** 王宮は大和高田市**浮孔宮**
第四代 **懿徳天皇** 王宮は橿原市**軽の境岡宮**
第五代 **孝昭天皇**(170年代～190年代) 王宮は御所市**池心宮**

弥生終末期

第六代 **孝安天皇**(195～215年頃) 王宮は御所市**秋津島宮**
第七代 **孝霊天皇**(215～239年) 王宮は田原本町**廬(いほど)宮**
第八代 **孝元天皇**(239～247年) 王宮は橿原市**軽の堺原宮**
第九代 **開化天皇**(247～267年) 王宮は奈良市**伊邪河(いざかわ)宮**

古墳前期

第十代 **崇神天皇**(268～300年頃) 王宮は桜井市金屋の**水垣宮**
第十一代 **垂仁天皇**(300～330年頃) 王宮は桜井市纏向の**玉垣宮**



大和の膨張

(欠史八代説では第九代開化天皇まで架空の人物)

第五代 孝昭天皇(170年代～190年代)

東海三国(伊勢、美濃、尾張)を支配。

第六代 孝安天皇(195～215年頃)

大和盆地全域を支配。淡路島を支配。庄内式土器の登場。
兄アメノオシタラシヒコは和珥(わに)氏の祖。

第七代 孝霊天皇(215～239年頃)

阿波を支配した後、近江、越前、丹波を支配。
阿波の一部が房総半島に逃亡。阿波の前方後円墳文化が大和へ。

第八代 孝元天皇(239～247年頃)

東播磨まで拵げた後、吉備に挑む。加古川に前線基地。

第九代 開化天皇(247～267年頃)

吉備征服を達成。

第十代 崇神天皇(268～300年頃)

吉備文化の導入(弧帯文、特殊器台、布留式土器、オオモノヌシ)
東西日本の統一。定型前方後円墳の確立。

第十一代 垂仁天皇(300～330年頃)

日本神話の原形の成立
伊勢神宮の成立



7. 伊勢神宮と日本神話の原形の成立(垂仁天皇時代 320~330年頃)

崇神天皇の三人の後

正后 ミマツヒメ 父はオオビコ、垂仁天皇等の母

后 尾張オオアマヒメ ヤサカイリヒコ等の母

后 紀伊マクハシヒメ トヨキイリヒコとトヨキイリヒメの母

元伊勢伝承 トヨキイリヒメ(崇神天皇皇女)

紀伊 奈久佐浜宮

吉備 名方浜宮

丹後 与佐宮

伊勢神宮 ヤマトヒメ(垂仁天皇皇女)

大和 伊賀 近江 美濃 伊勢

尾張氏と阿倍(伊賀国)氏

東国は大和朝廷を支える直轄地

伊勢が東国への出発点

伊勢神宮、鹿島神宮、香取神宮

尾張氏→渡会氏(伊勢国造、外宮トヨウケ)

トヨキイリヒコ系・中臣系への牽制

出雲の国譲り神話は、

出雲だけでなく日本海地域と信州、陸奥南部、

武蔵の勢力を納得させるための創作



高地性集落の3段階の分布

(出典:講談社 日本の歴史2 寺沢 薫 著「王権誕生」
P.200、P.235、P.294)

第1次高地性集落

:弥生中期後半から後期初め(前1世紀後半～1世紀)

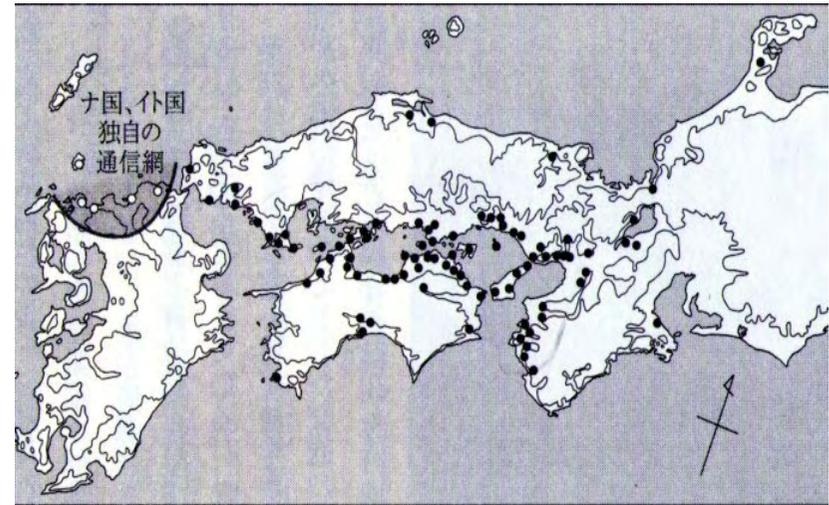
第2次高地性集落

:「倭国乱」の頃(180年前後)

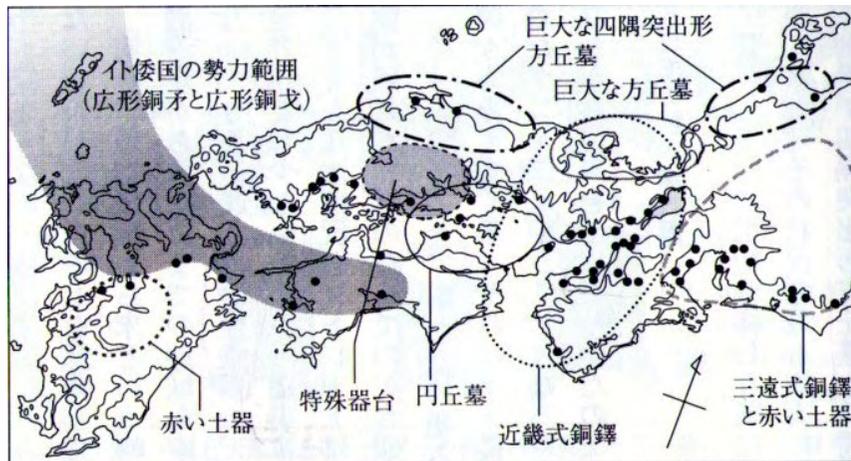
第3次高地性集落

:3世紀(200年代)

第1次高地性集落 (前1世紀後半～1世紀)



第2次高地性集落 (180年前後)



第3次高地性集落 (200年代)

